

令和7年度第2回役員会議事要旨

日 時 令和7年6月13日（金）15時00分～15時36分
分

場 所 長岡技術科学大学 第1会議室

出席者 鎌土学長、武田理事・副学長、山下理事・副学長、吉田理事

陪席者 馬場監事、野本監事、上地副学長・事務局長、鈴木副学長、岩橋副学長、宮下副学長、湯川副学長

事務局 事務局次長（総務担当）、監査室長、総務課専門員、総務課総務係員

配付資料

令和7年度第1回役員会議事要旨（案）

資料1 令和6年度の計画に係る中期目標・中期計画の進捗状況に関する自己評価書（案）

資料2 大学機関別認証評価に係る自己評価書（案）

資料3－1 令和6年度決算の概況

資料3－2 令和6事業年度決算について（案）

資料3－3 令和6事業年度財務諸表の解説（案）

資料3－4 令和6事業年度（第21期）財務諸表（案）

資料3－5 令和6事業年度（第21期）事業報告書（案）

資料3－6 令和6事業年度（第21期）決算報告書（案）

資料3－7 令和6事業年度（第21期）監事及び監査法人の監査報告書

資料4－1 令和7年度資金運用方針（案）

資料4－2 資金運用の強化に向けた環境整備（案）

資料5－1 令和8年度長岡技術科学大学概算要求について（案）

資料5－2 令和8年度教育研究組織整備概算要求事項

資料5－3 令和8年度施設整備費補助金概算要求事項

資料6 教職課程の自己評価 評価報告書（案）

報告1 令和6年度資金運用実績について

報告2 国立大学法人における会計監査人の選任について（通知）

議事に先立ち、令和7年度第1回役員会議事要旨（案）について説明があり、案のとおり承認した。

【審議事項】

1. 令和6年度の計画に係る中期目標・中期計画等進捗状況に関する自己評価書について
武田理事・副学長から、資料1に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。
2. 大学機関別認証評価に係る自己評価書について
武田理事・副学長から、資料2に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。
3. 令和6年度決算について
上地副学長・事務局長から資料3－1から3－6に基づき決算の主な概況について説明があり、審議の結果、これを承認した。また、野本監事から資料3－7に基づき監査結果

の報告があった。

4. 令和7年度資金運用方針について

上地副学長・事務局長から資料4に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

5. 令和8年度概算要求について

上地副学長・事務局長から資料5に基づき、令和8年度の概算要求の方向性について説明があり、審議の結果、これを承認した。

【報告事項】

1. 令和6年度資金運用実績について

上地副学長・事務局長から、報告1に基づき報告があった。

2. 会計監査人の選任について

上地副学長・事務局長から、報告2に基づき報告があった。

【その他】

馬場監事：

大学からの情報発信については、前回の経営協議会で指摘された点が、ここ2年の取組を経て組織的に稼働し始め、良い効果が期待される。また、女子学生に対する取組を含めた学生目線の環境整備が、今年度以降順次進められるとのことで、今後の学生募集の方向性に影響を与える重要な取組として、良い方向に向かっていると考える。さらに、理科系教員輩出については、目標値の設定も大切であるが、教職についての意識を高められるような教育課程での取組が課題であり、輩出人数が少なくても、効果は大きいと考える。

野本監事：

事務局長からの資金運用の説明について、それ自体は良い取組と考える。
監事として期末ごとに預金残高のチェック等を行ってきた結果、休眠口座の整理が進んでいることを確認した。入金用途ごとに口座を作成していたため休眠口座が発生していたが、今後は合理的な整理ができればと考える。また、残高のある普通預金の口座については、リスク管理を行いながら、余剰資金の運用を進めることが期待される。

以 上